

第29回「朝鮮通信使と琉球使節」展示資料一覧

会期:令和5年9月29日(金)~11月26日(日)

章	No.	資料名	年代	製法	形状	概要
1章	1	朝鮮人来朝大行列略図	江戸時代後期 (文化8年〔1811〕以降)	木版 色摺	卷子	朝鮮通信使の行列を描いた摺り物を卷子に仕立てたもの。実現しなかった通信使来日を想定して製作された。
	2	朝鮮人来朝行列記	文化8年 (1811)	木版 墨摺	冊子	対馬までしか来なかった最後の通信使についての対馬での様子取材した版本。序文は十返舎一九で挿絵は2代目喜多川歌麿。
	3	唐人騎馬之図	江戸時代 (17世紀頃)	紙本 著色	卷子	「馬上才」を描いた肉筆の絵画作品。馬上の武芸の数々を色鮮やかに描く。
	4	朝鮮人曲馬図	宝暦13年 (1763)	木版 墨摺	冊子	「馬上才」を紹介した版本で、9つの技について名前と概要を絵で紹介している。
2章	5	琉球人来朝之図	寛政2年 (1790)以降	紙本 著色	卷子	肉筆の琉球使節の行列図で寛政2年(1790)の来日時の一行程を描いているが、同行する日本人は描かれていない。
	6	琉球人行列の図 掌翰使	寛政2年 (1790) 又は 同9年 (1797)	木版 色摺	額装	浮世絵師の歌川豊広が描いた、琉球使節の浮世絵の連作。描かれているのは、国書を携える掌翰使、使節の旗(虎旗)を持つ人物、楽器を演奏する路次楽。
	7	琉球人行列の図 虎旗				
	8	琉球人行列の図 路次楽				
9	中山楽童子 幸地里之子図	江戸時代中~後期	紙本 著色	軸装	琉球使節の中で人気が高かった楽童子と呼ばれる教養豊かな少年を描いた絵画資料。	
3章	10	金地院宛て 本多忠晴書状	正徳元年 (1711)	手書	一紙	寺社奉行が、通信使接待役僧侶の交代について調整を金地院に依頼した文書。
	11	覚 (副使の船遭難救助)	正徳元年 (1711)	手書	一紙	対馬で遭難した朝鮮通信使副使の船の救助と、日程が遅れることの報告を記す文書。
	12	保命酒関連漢詩文貼交帖	江戸時代	手書	一紙	朝鮮通信使一行の荷物を、彦根から大垣まで届けるための、人馬の準備等の役割分担を示した文書。